

### 高齢者の相談窓口 地域包括支援センターです(7)

地域包括支援センターとは、高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などの専門職が連携をとり、高齢者の支援をします。「認知症や介護予防について知りたい」「退院後の生活が心配」「介護サービスについて知りたい」などお気軽にご相談ください。今回は、認知症サポーターについて紹介します。

市では、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりをめざし、認知症サポーターの養成に取り組んでいます。

認知症サポーターとは、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場で認知症の人や家族に対して、できる範囲での手助けをするボランティアです。特別なことを

### 国保加入者のための健診結果相談会

保健師と管理栄養士が気になる検査数値の相談や生活習慣に関するアドバイスをを行います。

2月22日(水) 午前9時～午後4時 (1人45分)

総合保健福祉センター 18人(先着順)

国保年金課の窓口または電話で申し込み。(定員に達し次第終了)

記号の見方 時日時 場会場

内容 対象 定員 費用

申し込み 締め切り

持ち物 問い合わせ

444・0815

444・0815

444・0815

444・0815

### 引越しワンストップサービスが始まります

2月6日(月)から、マイナンバーを通じ、全ての市区町村でオンラインによる転出届の提出と、転入届または転居届を提出するための来庁連絡(転入・転居予約)ができるようになります。

転出届を提出する際に市役所への来庁が不要となります。市役所へ来庁し、窓口での手続きが必要となります。その際に、事前にオンラインで必要な手続きや持ち物が確認でき、また、転入地または転居地の市役所で届出人の来庁予定日や必要な手続きを事前に

### 全国一斉の緊急情報の伝達訓練

地震や津波、武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム(Ｊアラート)から送られてくる国からの緊急情報を、さまざまな手段で確実に皆さまへお伝えするため、情報伝達訓練を行います。

八街市が実施する訓練は、次のとおりです。 伝達訓練日時 2月15日(水) 午前11時

情報伝達手段 防災行政無線の試験放送

八街市内47カ所にある防災行政無線から、午後4時30分(4月・10月は午後5時)に実施しているチャイムと同じくらいの音量で、次の放送内容が一斉に放送されます。

### 八街市総合計画審議会の委員を募集します

市では、八街市総合計画2025(仮称)(計画期間令和7年度～16年度)について、市民と行政が一体となって、情報を共有しあい、意見交換を行いながら本計画づくりに取り組むため「八街市総合計画審議会」の委員を募集します。

任期 令和5年4月1日～当該審議が終了するまで(最長でも令和7年3月31日)

募集人数 2人 応募資格 次の要件をすべて満たしている方

・市内に住所があり1年以上在住している満18歳以上の方

・八街市の職員および議会議員ではない

・八街市の他の審議会などの公募委員を2以上委嘱されていない

・暴力団員などと密接な関係を有していない

### 古紙の出し方にご協力ください

古紙を出す際は折りたたみ、紙ひもやビニールひもで束ねてください。ガムテープで束ねたり、種類ごとに分けていないものがあると収集時間が遅れたり、収集できない場合があります。

また、古紙は収集日当日午前8時30分までに、ごみ収集場所へ必ず出してください。 ※午前8時30分以降に出した古紙は回収できません。 古紙の分け方・出し方を守

・平日昼間の会議に参加ができる 報酬 会議出席1回につき5000円

応募方法 申込書に「これからの八街市のまちづくりに必要なこと」をテーマとしたレポート(任意様式800字～1200字)を添えて、2月28日(火)までに企画政策課へ持参・郵送・Eメールのいずれかで提出。

郵送先 〒289-1192 八街市八街35番地29 kikaku@city.yachimata.lg.jp

選考方法 「応募の動機」「問題意識の高さ」「独創性」「建設的な意見」「目標」の項目を選考委員会が審査し選考します。

企画政策課 443・1114

古紙を出す際は折りたたみ、紙ひもやビニールひもで束ねてください。ガムテープで束ねたり、種類ごとに分けていないものがあると収集時間が遅れたり、収集できない場合があります。

また、古紙は収集日当日午前8時30分までに、ごみ収集場所へ必ず出してください。 ※午前8時30分以降に出した古紙は回収できません。 古紙の分け方・出し方を守

ごみ収集カレンダーの裏面の「家庭ごみの分け方・出し方」をご覧ください。

443・6937

